

反対

●低所得者・子育て世帯プレミアム付商品券発行事業は、平成31年度予算に計上していない自治体がある中、本市は、積極的に取り組む姿勢を見せている。経費の3分の1が事務費となる上に、わずか5千円の一次的な補助で、消費税増税の負担を緩和する効果はない。地方自治体は、国の下請け機関ではなく対等な立場である。自立した自治体として、

て、市民を守る責務への自覚と誇りを持って取り組むことを望む。外国人介護福祉士候補者や技能実習生の受け入れを本格化させるが、介護は高度な専門性を要する知的労働である。介護の質を二の次に、安い労働力への置き換えを狙った外国人への開放は、介護職の低賃金、労働条件の悪化に拍車を掛けるものと危惧する。道の駅整備は期待もあるが、現在の企画や進め方では、大いなる失敗もあり得ると考える。指定管理者の運営力に

頼るのではなく、市として成功の道筋を明確にし、その上に民間のアイデアを乗せるべきである。厚木基地がオスプレイの修理拠点となる危険性が指摘されている。市は事態の推移を見守っているが、積極的に国や米軍に働き掛け、基地の返還や日米地位協定の抜本的な改定を求める運動を起こすことを求める。市民の暮らしと命を守る取り組みを求め、本予算に反対する。
(日本共産党綾瀬市議団)

●厚木基地の空母艦載機移駐後、100W値を超える爆音は少なくなったものの、70W値を超える騒音は、いまだに続いていく。騒音被害をなくし、市民の健康を守るとともに、部品落下や墜落事故などで市民の命と財産が失われることがないよう、引き続きしっかり取り組むことを望む。消費税増税時に低所得者や子育て世帯への影響を緩和し、消費を喚起するため、プレミアム付きの商品券を発行する。0歳から2歳の子どもが

いる世帯などが対象だが、3歳から大学生の子どもを抱えている世帯の方が費用が掛かるため、支援が必要と考える。落合・吉岡地区の土地区画整理事業は、目標とする8割の賛同を得るためには、面積ベースで約1万4300平米も不足しており、難しい数値目標と考える。いたずらに税金を投入し続けるのではなく、早い段階での事業撤退を考えるべきである。横浜市などでは、土地開発公社を廃止しているが、本市は、大規模

な工事は、年度管理ではなく臨機応変に対応できる公社の用地取得にメリットがあるとされている。議会の審議や議決の前に用地が取得され、購入の報告を承認するだけでは、議会としての役割を果たすことができない。土地開発公社の廃止を含めた再検討を求め、本予算に反対する。

※()は、会派名です。記載のないものは、会派を組んでいない議員の意見です。

市政に対する一般質問

一般質問は、提出された議案にかかわらず、議員が執行者の考え方をたずねることができるものです。
3月定例会では、3月15日・18日・19日の本会議で16人の議員から質問が行われ、論議が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です(掲載は質問順、6ページまで続きます)。



認知症予防などに効果のある
AIスピーカーの活用を

公明党 井上 賢二

●高齢者福祉について

Q 鎌倉市は、音声操作に対応したAIスピーカーの実証実験を行い、ひとり暮らし高齢者の孤独解消や認知症予防などに効果を上げています。本市も導入を検討しないか。

A 鎌倉市や他自治体の導入状況や効果などを調査・研究し、検討していきたい。

Q 健康寿命の延伸に有効な歩行ポイント事業は、歩数に応じてポイントを付与するが、歩数の設定根拠は。

A 健康づくりには、1日8千歩から1万歩を歩くことが適当と言われているため、1万歩以上を上限の5ポイントとし、2千歩減るごとに1ポイント減る設定にした。

●ひきこもりについて

Q ひきこもりの当事者や家族の相談に応じ、課題の整理などを行う、支援ステーションを設置しないか。

A 県及び指定都市が、ひきこもり地域支援センターを設置することになっている。支援センターの状況などを参考に、今後、相談支援体制の拡充を研究していきたい。

●小・中学校いじめについて
Q 学校では、どのようないじめ対策を行っているか。

A 道徳の授業やあらゆる教育活動で、互いの違いを認め、個人を尊重する人権教育の充実を図るとともに、朝会などの講話でいじめを取り上げ、未然防止に努めている。



暮らしの足を支える取り組みを加速させていかないか

あやせ未来会議 安藤多恵子

●「暮らしの足」を実現して元気高齢者を創るために

Q 暮らしの足を支える取り組みを加速すべきと思うが、市の考えは。また、住民参加型移動支援団体が、綾西を走るコミュニティバス5号車の路線を運行できる状態になった場合は、費用なども含め、引き継げるのか。

A 公共交通だけでなく、地域で取り組みを行うなど、さまざまな移動手段の確保が必要と考える。また、団体が5号車の役割を担えるようになった場合は、地域の方と意見交換をし、市公共交通検討会議に諮り、検討していく。

●指定管理者を100%活用するために



オスプレイの飛来と厚木基地での整備に反対しないか

日本共産党 松本 春男

●オスプレイの飛来と整備工場の反対

Q オスプレイの飛来が増え、厚木基地での整備が懸念されるが、反対する考えは。

A 市と議会の要望の中で厚木基地へ飛来しないよう国に求めている。国から整備に関する情報は受けていないが、引き続き、基地の運用に関する情報提供を求めていく。

●オスプレイの飛来と整備工場の反対
Q オスプレイの飛来が増え、厚木基地での整備が懸念されるが、反対する考えは。

A 市と議会の要望の中で厚木基地へ飛来しないよう国に求めている。国から整備に関する情報は受けていないが、引き続き、基地の運用に関する情報提供を求めていく。

●愛犬と飼い主が集まれる場所

Q 犬と飼い主が集まれる場所を確保する考えはあるか。また、公園での課題は。

A 犬を連れて公園を利用できるため、新たに確保する考えはない。また、住宅に面した公園では、鳴き声や臭いなどの問題がある。

●橋の欄干の安全対策
Q 橋により、隙間が広い欄干があるが、幼児が落下しないよう対策を講じないか。

A 安全に関わる問題であるため、早急に調査し、転落の可能性がある箇所は、利用状況に応じ、アクリル板の設置などで対策したい。

「あやせ市議会だより」は、
直接お届けしています

あやせ市議会だよりは、市シルバー人材センター(☎0467-70-3088)の会員が配布しています。

次号は、令和元年8月15日発行です。

詳しい内容は会議録・HPで

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。詳しくは、市役所内情報公開コーナー、市立図書館、市議会に備えてある会議録をご覧ください。また、インターネットでも、会議録の閲覧や検索ができます。

綾瀬市議会

検索